

5 学年 社会科学学習指導案（略案）

単元名 「自動車をつくる工業」 12 / 12

ねらい 人や環境に優しい自動車づくりの観点から進んで意見交流ができる。

準備 教師・・・グループ学習の手順を説明した掲示物 学んだソーシャルスキルの説明が書いてある掲示物

本時のワークシート ふり返しカード

児童・・・前時に調べたことが書いてあるワークシート

学習活動 <学習形態>	時間	☆ユニバーサルデザインの手立て 人・・・人的環境 物・・・物理的環境	・支援及び留意点
<p>1. 本時の学習のめあてを確認する。 <一斉></p> <div style="border: 2px solid cyan; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>「人と環境にやさしい」自動車について調べたことを紹介しよう</p> </div> <p>・人や環境に優しい自動車づくりについて、各自が調べたテーマ「環境」「安全」「福祉」の内容をグループで発表し合う。</p> <p>2. 調べたことについて発表練習をする。<個人></p>	5分	<p>☆研究や開発されている自動車の技術だけではなく、その技術が必要な理由も、前時に書いたワークシート（資料①）を使うことによって発表できるようにさせる。物</p>	<p>・同じグループの中に「環境」「安全」「福祉」の異なるテーマを調べた児童を編成し、各自が調べていないテーマの内容も知ることができるようにさせる。</p> <p>・発表練習の時間を設けることにより、グループ学習では自信を持って分かりやすく発表できることにつなげさせる。</p>
<p>3. グループで学習する手順を確かめる。 <一斉></p> <p>4. 3人グループで調べたことを発表し合う。<小グループ></p> <p>①一人目が調べたことを発表する。</p> <p>②聴く子は「真剣な聴き方」を意識して聴く。</p> <p>③分かったことをワークシートに書く。(資料③)</p> <p>④発表の後、「分かったこと」「温かい言葉がけ」を発表者に対して一人一人が伝える。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p><発表者>ハンドルにノブが付いていて、片手が不自由な人でも運転しやすい車です。</p> </div> <p>「温かい言葉がけのスキル」自分の考え</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p><聴き手>体が不自由な人でも運転できる自動車の工夫が分かりました。</p> </div> <p>「温かい言葉がけのスキル」相手への言葉</p> <div style="border: 2px solid magenta; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p><聴き手>ハンドルの絵もあって、発表が分かりやすかったです。</p> </div>	30分	<p>☆どの児童にも学習の手順が分かるように、指示を一文一動作で伝える。人 また、指示した手順を掲示しておく。物</p> <p>(資料②)</p> <p>☆ワークシートと同じ形式の掲示物を使って説明することにより、どの子どもにも書き方が分かるようにさせる。物 (資料④)</p> <p>☆グループ学習で取り組むことによりどの子どもにも友達とかかわり合って表現する機会を持てるようにさせる。人</p> <p>☆「真剣な聴き方のスキル」と「温かい言葉がけのスキル」を使い、お互いが認め合える態度で話し合えることにつなげる。人</p> <p>☆活用するソーシャルスキルは教室に掲示しておく、いつでも使い方が確認できるようにさせる。物</p>	<p>・自動車づくりについて分かったことをワークシートに書くことによって、聴いたことが整理できるようにさせる。</p> <p>・ワークシートに書く際、再度発表者に聴きたいことがある場合は、積極的に質問してよいことを確認しておく。</p> <p>・聴く児童は、分かったことを発表者に伝えることによって、発表内容をより理解できるようにさせる。</p> <p>・発表者や言葉がけをする順番を事前に決めておき、児童が戸惑うことなく話し合いを進められることにつなげる。</p> <p>・積極的に書けている児童を賞賛する。 「分かったことが書けているね。友達のを発表をよく聴いていたんだね」「水素自動車が必要な理由まで分かっているんだね」</p> <p>・誤った内容を書いている児童には友達との学び合いにつながるように助言する。 「発表した〇〇君にもう一度聞いてみよう。ABS のことが分かるよ。」</p>
<p>5. 授業の感想を書く。 <個別> (資料⑤)</p> <p>・グループ学習をした感想を書く。</p> <p>・学んだソーシャルスキルを活用できたかについて自己評価をする。</p> <p>6. 本時の学習を振り返る。</p>	10分	<p>☆グループ学習で、意見交流を積極的にしていた様子を肯定的で具体的な言葉で評価する。人</p> <p>「相手の顔を真剣に見てうなづきながら聴けていましたね。友達と勉強しよう」と</p>	<p>・社会科が苦手な児童が具体的な感想を書けていれば発表する機会を設け学級全体で認めて今後の意欲につなげさせる。</p> <p>・ペアで振り返らせることにより、どの児童にも本時の学習について表現する機会を設け、学べた実感が持たせら</p>

<p><ペア→一斉></p> <p>○「真剣な話の聴き方」でお互いの発表を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで感想を話し合う。 ・学級全体で感想を発表し合う。 	<p>いう気持ちが伝わってきました。」「発表を聴いて分かったことを伝えられていました。友達の発表からも自動車づくりのことが理解できましたですね。」</p>	<p>れるようにする。</p>
--	---	-----------------

評価

- ・学習活動3、4の場面「人や環境にやさしい自動車づくりの観点から進んで意見交流している。」
〈関心・意欲・態度〉(ワークシート・発表)

社会科「自動車をつくる工業」板書計画

調べたことを発表しよう

調べたことを発表しよう

友達から分かったことを書きましょう。

友達の発表から分かったことを書きましょう。

友達が分かった・・・☆
研究や技術の内容が分かった・・・☆
研究が必要な理由が分かった・・・☆

()さんく君>の発表を聞いて分かったこと

友達の発表から分かったことを書きましょう。

友達が分かった・・・☆
研究や技術の内容が分かった・・・☆
研究が必要な理由が分かった・・・☆

()さんく君>の発表を聞いて分かったこと

「人と環境にやさしい」自動車について調べたことを紹介しよう。

発表の進め方

①一人目が調べたことを発表します。(絵があれば、見せましょう)

②分かったことをプリントに書きましょう。

③一人目は、「真けんなきき方」でききましょう。

④分かったことと「温かい言葉かけ」を伝えましょう。

分かったことを書こう

友達の発表から分かったことを書きましょう。

友達が分かった・・・☆
研究や技術の内容が分かった・・・☆
研究が必要な理由が分かった・・・☆

()さんく君>の発表を聞いて分かったこと

題名は「クリアランスセンサー」です。センサーが、人と物とのきよりをキッチして音で伝えます。センサーは、自動車の前と後ろについています。運転する人が見えづらい場所でも、交通じこが防げるように開発されました。

資料①

資料②

資料④

自動車をつくる工業

「人と環境にやさしい」自動車について、調べたことを しょうかいしよう

名前 ()

友達の発表から分かったことを書きましょう

友達が分かった・・・☆
研究や技術の内容が分かった・・・☆
研究が必要な理由が分かった・・・☆

()さんく君>の発表を聞いて分かったこと

友達の発表から分かったことを書きましょう

友達が分かった・・・☆
研究や技術の内容が分かった・・・☆
研究が必要な理由が分かった・・・☆

()さんく君>の発表を聞いて分かったこと

資料③

ふり返りカード 名前 ()

①今日の授業をふり返って感想を書きましょう。(発表のこと・発表を聞いたこと・感想を伝え合ったこと など)

②「しんけん話のきき方」や「温かい言葉かけ」について、ふりかえろう。(できた→もう少し→△)

き き 方	○か△
話す人に体を向けて顔を見る。	
話を最後まできく。	
タイミングよくうなづく。	
あいづちをうつ。	

言 葉 か け	○か△
相手を見る。	
相手の様子や自分の気持ち・考えを伝える。	
やさしい言い方をする。	
やさしい表情をする。	

資料⑤

5 学年 理科学習指導案（略案）

単元名 「流れる水のはたらき」 8 / 12

ねらい 写真を見比べたり、話し合ったりしながらから上流・中流・下流によって、流れる水の速さや量、川幅や石の大きさ等に違いがあることに気付く。

準備 「上・中・下流の位置を確認させる掲示物」 「上・中・下流を写した掲示用の写真」 「ワークシート」
 「ワークシートを拡大した掲示物」 「大きさや広さなどの表し方を例示した掲示物」 「上・中・下流を映したDVD」
 「上・中・下流の石を接写した写真」 「感想用紙」 「グループ学習の手順を説明した掲示物」

学習活動 <学習形態>	時間	☆ユニバーサルデザインの手立て 人・・・人的環境 物・・・物理的環境	・支援及び留意点
1. 本時のめあてを知る。 <一斉> ・ 掲示した地図に表されている川の位置から、「上流」「中流」「下流」の言葉と川の位置を確かめる。 ・ 川の様子の写真（6枚）を上・中・下流の2枚ずつに組み合わせる。 ・ 本時のめあてを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 2px; display: inline-block;">上流・中流・下流の違いを見つけよう</div>	3分	☆地図の位置と言葉の両方で説明したものを掲示することにより、どの児童も「上・中・下流」の意味が理解できることにつなげさせる。物 （資料①）	・ 川の写真を並びかえる活動を通して、上・中・下流には、特徴があることに気付かせ、本時の学習のめあてにつなげる。
2. 写真を中心に上・中・下流の川や川岸の様子を比べる。 <個別> ・ 写真から分かる上・中・下流の特徴を見つけてワークシートに記入する。 （資料④） ・ 動画や黒板に掲示した石を接写した写真などの補足資料からも川の子の違いについて考える。	15分	☆同じ特徴や違う特徴がある川の写真を使い、視覚的に川の様子の特徴がとらえられるようにさせる。物（資料②） ☆気付いた特徴を分かりやすく表すための例を説明して掲示し、どの児童も自分なりの分かりやすい表現でワークシートに記入できることにつなげる。物（資料③） ☆児童に配布したワークシートと同じものを拡大して掲示し、学習の進め方を明確にさせる。物（資料⑤） ☆上・中・下流の石を接写した写真から、ワークシートの写真では分かりづらい石の大きさや形を確かめさせる。物（資料⑥） ☆上・中・下流の様子が分かる動画から、ワークシートの写真からは分かりづらい流れる水の速さなどを確かめさせる。物	・ 個別に考える時間を設け、また、気付いたことをワークシートに記入することにより、自分なりの考えを持ってグループ学習に参加できるようにさせる。 ・ 川の特徴が見つけれない児童には、写真の着目する部分を指し示し、何を比較するかはつきりさせる。
3. グループになり、それぞれが気付いたことをもとに、上・中・下流の特徴を話し合う。<グループ> ・ 自分が気付いた上・中・下流の特徴を一人一人が発表する。 ・ お互いの発表を比べて、自分が気付いたことに加えることや訂正することをワークシートに記入する。	20分	☆どの児童にも話し合いの手順が分かるように、指示を一文一動作で伝える。人 また、指示した手順を掲示しておく。物（資料⑦） ☆グループ学習で取り組むことによりどの子どもにも友達とかかわり合って表現する機会を持てるようにさせる。人	・ グループごとの間隔を空けて机を移動するように指示し、お互いのグループの声を気にせず話し合えるようにさせる。

<司会者>では、〇〇さん、気付いたことを言って下さい。

「グループで話し合うときのスキル」
司会者の言葉

<発言する子>私は、川幅の違いに気付きました。上流が一番狭いです。みんなは、どう思う？

「自分の意見を言うときのスキル」
アイメッセージ+理由と質問

<聴き手>本当だ。上流が狭いね。

☆「真剣な聴き方のスキル」や「温かい言葉がけのスキル」を意識して、お互いが認め合える雰囲気の中で話し合えることにつなげさせる。☑

☆「グループで話し合うときのスキル」を使い、司会者の進行で一人一人が話せる場面を設ける。

☆「自分の意見を言うときのスキル」を使い、どの児童もグループの話し合いで自分の意見が表現できることにつなげさせる。☑

・話し合っただけで気付いたことが書けない児童には、教師が直接助言するのではなく、グループの児童同士が助言し合えるような言葉がけをする。

5. 本時の学習をふり返り、次時の学習を知る。<個別→ペア→一斉>

- ・本時の授業について分かったことや感想を書く。(資料⑧)
- ・学んだソーシャルスキルが活用できたかについて自己評価する。
- ・ペアで感想を伝え合う。
- ・学級全体で感想を発表し合う。
- ・本時で学習した上・中・下流の特徴を確かめる。
- ・次時は、上・中・下流の特徴をまとめ、上・中・下流の川や川原の様子が変化していく理由を考えることを知る。

7分

☆「真剣な聴き方」で聴き合い、本時の学習で分かったことや感じたことを認め合えることにつなげる。☑

☆学級全体に対して学習に進んで取り組んでいた様子を肯定的で具体的な言葉で評価する。☑「上流・中流・下流の写真を選んだ理由を伝え合うことができましたね。」「グループで話し合っただけで、気付いたことが増やせましたね。お互いの話をうなずきながら真剣に聴けていたからですね。」

・児童がワークシートに書いている内容を個別に肯定的な言葉がけで認める。「上流と中流と下流の違いをたくさん見つけたんだね。写真を細かいところまで見て考えられたからだね。」「友達の発表を聴いて流れる水の速さの違いも分かったんだね。自分の気付いたこととよく聴き比べられたからだね」

・ペアで振り返らせることにより、どの児童にも本時の学習について表現する機会を設け、学べた実感が持たせられるようにさせる。

評価

・学習活動2と3の場面「写真を見比べたり、話し合ったりしながら上流・中流・下流によって、川幅や石の大きさ等には違いがあることを気付いている。」

〈思考・表現〉(ワークシート・発言)

理科「流れる水のはたらき」板書計画

上流・中流・下流の違いを見つけよう

<p>山の峰を流れる川</p> <p>山から平地に出てきた川</p> <p>山にそそぐあたりの川</p> <p>大きさや広さなどの話し方① くらべる ～より広い(大きい など) 例「中流より広い」</p> <p>大きさや広さなどの話し方② たとえる ～の大きさ(～のような形 など) 例「手のひらくらいの大きさ」</p>	<p>上流</p> <p>B</p>	<p>川のこと</p> <p>石のこと</p>	<p>1 司会者 「では、〇〇さん(君)どうぞ。」</p> <p>2 話す人 アイメッセージ 「私は(僕)は、川幅のことに気づきました。」</p> <p>3 聞いた人は、考えを伝えます。</p>
	<p>中流</p> <p>C</p>	<p>上流の写真</p> <p>中流の写真</p>	<p>4 司会者が次に話す人を指します。</p> <p>5 全員が川のことを話したら、「話し合っただけで気づいたこと」を書く。(相談して同じ数ずつ)</p> <p>「気づいたこと、上流・中流・下流について。」</p> <p>「みんなはどう思いますか?」</p>
	<p>下流</p> <p>A</p>	<p>下流の写真</p>	<p>資料① 資料③</p> <p>資料②</p> <p>資料⑤</p> <p>資料⑥</p> <p>資料⑦</p>

上流・中流・下流の違いを見つけよう		名前()		
上	写真① 	写真② 	川のこと 自分で気づいたこと ----- 話し合っで気づいたこと	石のこと 自分で気づいたこと ----- 話し合っで気づいたこと
	中			川のこと 自分で気づいたこと ----- 話し合っで気づいたこと
下			川のこと 自分で気づいたこと ----- 話し合っで気づいたこと	石のこと 自分で気づいたこと ----- 話し合っで気づいたこと

資料④

ふり回りカード 名前()

① 今日の授業をふり返りましょう。

(分かった→○ よく分からなかった→△)	○か△
今日の授業で、上流・中流・下流の違いが分かりましたか	

② 今日の授業では、自分で考えたり、話し合ったりしながら、上流・中流・下流について、どんなことが分かりましたか。

③ 「しんけんな話のきき方」や「自分の意見を言う」について、ふりかえろう。
(できた→○ もう少し→△)

聞き方	○か△
話す人に体を向けて顔を見る。	
話を最後までできく。	
タイミンクがよくうなづく。	
あいづちをうつ。	

話し方	○か△
アイメッセージ	
※「私(ぼく)は、～のことに気づきました。」	
理由と質問	
※「気づいたのは、～ことです。みんなは、どう思いますか？」	

資料⑤


4 学年 国語科学習指導案（略案）

題材名 「ごんぎつね」 8 / 16

ねらい 「ごんはどんなきつねなのか」話し合うことで、ごんの兵十への気持ちの深まりを読み取っている。

準備 教師・・・「ごんぎつね」3の場面が書いてあるプリント ワークシート

3の場面が書いてあるプリントの拡大掲示物 感想用紙

学習活動 〇活用するソーシャルスキル <学習形態>	時間	☆ユニバーサルデザインの手立て 人・・・人的環境 物・・・物理的環境	支援及び留意点
1. 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。<一斉> ごんはどんなきつねだろう	3分	☆教室掲示してある前時のまとめ(ごんがいたずらをして後悔した気持ち)に目を向け、学習の継続を意識させる。掲示物には場面絵も入れて学習内容を想起しやすくさせる。物	・支援及び留意点 ・短い時間の中で前時の様子が想起できるようにさせる。
2. 学習場面を音読する。<一斉> 3. ごんの行動や様子、心内語に目を向け、ごんがどんなきつねかを考える。 <個別> ・自分の考えの根拠となる本文の部分に線を引き、ワークシートに自分の考えを書く。	15分	☆3の場面が書いてあるプリントを配布し、音読した後、ごんがどんなきつねか分かる表現に線を引かせ、読み取りで着目するところをはっきりさせる。物 ☆ワークシートに自分の考えを書くことにより、自分の考えをはっきりさせると同時に、話し合いで自分の考えを話せることにつなげる。物 ☆児童に配布した3の場面のプリントを拡大したものを掲示し、文章の着目するところがすぐに分かるようにさせる。物	・ごんがどんなきつねか分かる表現を見つけることを読みの視点として各自で音読するように促す。 ・ごんはどんなきつねか、ごんの言葉や行動、様子に着目しながら考えるように助言する。
4. ごんはどんなきつねか話し合う。 <四人グループ> ・自分の考えを一人一人が発表する。 ・話し合った中で、つけ加えることがあれば、ワークシートに書く。 <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>ぼくは、ごんがやさしいきつねだと思います。理由は、ごんはくりだけではなく松たけも持って行って、兵十を元気づけようとしているからです。みんなは、どう思いますか？</p> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">「自分の意見を言うときのスキル」 アイメッセージ+理由と質問</p>	15分	☆自分の考えとの相違点や共通点を確認しながら「 真剣な聴き方のスキル 」で発表を聴く。人 ☆質問したいことや感想などがあれば、「 温かい言葉がけのスキル 」を意識して、伝える。人 ☆「 グループで話し合うときのスキル 」を使い、司会者の進行で一人一人が話せる場面を設ける。人 ☆自分が読み取ったことや友達への考えに対する意見は、「 自分の意見を言うときのスキル 」を使って伝え合う。人	・話し合う際は、根拠となる言葉や文を挙げて発表することを確認する。また、ごんの気持ちも想像して発表するように助言する。 ・「ごんがどんなきつねなのか」についてグループで話し合ったことは、黒板に貼るカードに書くことを伝える。 ・グループの考えを一つにまとめなくてもよいことを伝える。
5. グループで話し合ったことを発表し合う。<一斉>	7分		・児童から出された意見から、ごんの心の動きを時系列に整理して板書する。
6. 本時の学習を振り返る。 <個別→ペア→一斉> ・本時の授業について分かったことや感想を書く。 ・ペアで感想を伝え合う。 ・学級全体で感想を発表し合う。 ・本時で学習したごんの心の動きを確かめさせる。	5分	☆「 真剣な聴き方 」で聴き合い、本時の学習で分かったことや感じたことを認め合えることにつなげる。人 ☆学習に進んで取り組んでいた様子を肯定的で具体的な言葉で評価する。人 「ごんの気持ちを物語の言葉から考えられましたね。」「みんなが考えを出し合って話し合えましたね。」	・ペアで振り返らせることにより、どの児童にも本時の学習について表現する機会を設け、学べた実感を持たせる。 ・板書をもとに、ごんの心の動きをまとめさせる。

評価

- ・学習活動3と4の場面「兵十への償いの内容やごんの言葉などに着目して、ごんがどんなきつねなのかを読み取っている。」（読む能力）（ワークシート・発言）

4 学年 図画工作科 学習指導案（略案）

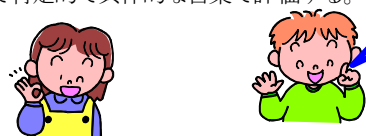
題材名 「木から生まれた世界」（木版画） 8 / 8

ねらい 鑑賞のポイントに目を向けながら友達の作品のよさを伝え合い、自分や友達の作品のよさを実感できる。

準備 教師・・・鑑賞のポイントを書いた掲示物 学習の進め方を書いた掲示物

友達の作品について感想を書く用紙

児童・・・自分の作品について書いた感想用紙

学習活動 <学習形態>	時間	場面	・支援及び留意点
1. 本時の学習内容を知る。<一斉> ・前時までの活動を振り返る。 ・本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 2px; display: inline-block;"> 友達の作品のよいところを見つけよう </div> ・学習の進め方を知る。 ・作品を見るポイントを確認する。	5分	☆ユニバーサルデザインの手立て 人・・・人的環境 物・・・物理的環境 ☆鑑賞のポイントを掲示しておくことにより、作品を見る視点をどの子どもにも必要な時に確認できるようにさせる。物 ☆どの児童にも学習の進め方が分かるように、指示を一文一動作で伝える。人 また、指示した手順を掲示しておく。物	・支援及び留意点 ・「白と黒のバランス」「彫り方」「表情」「ポーズ」などの見るポイントを伝える。
2. グループになり、自分の作品を紹介し合う。<四人グループ> ・一人一人が交代で自分の作品を紹介する。	10分	☆自分の作品紹介では、前時に書いた作品への感想文を使うことにより、どの児童も話せるようにさせる。物 ☆「真剣な聴き方のスキル」を使い、お互いが認め合える雰囲気の中で作品紹介をする。人	・気に入っているところや苦労したところなどについて、見るポイントと関連した感想が伝え合えるようにさせる。
3. 紹介し合った友達の作品について感想を書く。<個別> ・同じグループの各作品について感想を書く。	20分	☆「温かい言葉がけのスキル」を意識して、友達の作品のよいところに目を向けた感想が書けるようにする。人	・グループの友達に対しての感想が書き終わった児童には、他の友達の作品についても感想を書くことを伝える。 ・感想を書く前に、作品を見るポイントを再度確認させる。 ・よいと思うところが具体的に書けるように伝える。
4. グループに戻り、友達の作品について書いた感想を伝え合う。<四人グループ> ・互いに感想を伝え合う。 <div style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> 顔の表情から嬉しそうな気持ちが伝わる作品だね。 「温かい言葉がけスキル」 相手への言葉 </div>	10分	☆「真剣な聴き方のスキル」で聴き合い、「温かい言葉がけのスキル」を意識した口調で伝えることにより、互いを認め合う雰囲気の中で伝え合う。人 ☆作品のよさを伝え合っていた様子について肯定的で具体的な言葉で評価する。人 	・互いの作品についてよさを伝え合うことによって自分の作品のよさも実感できることにつなげる。 <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> 彫る場所に合わせて彫刻刀を替えているね。彫り方を考えていて関心しました。 「温かい言葉がけスキル」 相手への言葉＋自分の気持ち </div>

評価

・学習活動3と4の場面「友達の作品に関心をもち、作品のよさに気づいて伝えられる。」

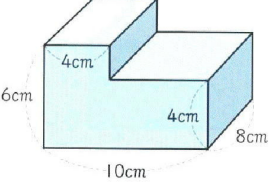
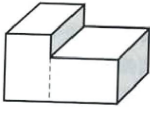
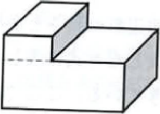
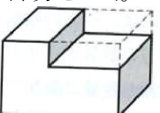

〈鑑賞の能力〉（感想文・発言）

5 学年 算数科学習指導案（略案）

単元名 「体積のはかり方と表し方」 4 / 11

ねらい 複合立体図形の体積を、直方体や立方体の公式を活用して、計算して求めることができるようにする。

準備 教師・・・立体模型 ワークシート 児童・・・粘土

学習活動 <学習形態>	単	☆ユニバーサルデザインの手立て 人・・・人的環境 物・・・物理的環境	・支援及び留意点
1. 本時のめあてをつかむ。<一斉> 体積を工夫してもとめよう ・立体模型を見ながら、その複合立体図形の体積を求めることを知る。 ・粘土を使って模擬立体を作る。	5分	☆粘土を活用して、学習課題の模擬立体図を作らせ、量感やおおよその概観を感じられるようにさせる。 物	・粘土を使う時間は、あらかじめ知らせておき、おおよその形を手早く作って、形を見て考える時間が設けられるようにする。
2. 体積の求め方を一人で考える。 <個別> ・配布されたワークシートに自分の考えと計算を書く。 	15分	☆発言する児童には、立体図形の絵と考え方やその計算を書く欄を設けたワークシートを用意して、自分の考えが整理できるようにさせる。物また、書いたワークシートを使い、グループで発言できるようにさせる。人	・ワークシートの絵には、自由に書き込みをしながら考えてよいことを伝える。 ・解き方が見つからない児童には、どのようにしたら既習の立方体や直方体の計算方法が使えるかを考えさせる。 ・一つの解き方が見つかった児童には、複数の求め方を考えるように助言する。
3. グループで意見を出し合い、複数の求め方にふれる。<四人グループ> A：図形を縦に切って2つの直方体にする。 $8 \times 4 \times 6 = 192$ $8 \times 6 \times 4 = 192$ $192 + 192 = 384$ 答え 384cm^3  B：図形を横に切って2つの直方体にする。 $8 \times 4 \times 2 = 64$ $8 \times 10 \times 4 = 320$ $64 + 320 = 384$ 答え 384cm^3  C：直方体とみて、ない部分をひく。 $8 \times 10 \times 6 = 480$ $8 \times 6 \times 2 = 96$ $480 - 96 = 384$ 答え 384cm^3 	15分	☆どの児童にも話し合いの手順が分かるように、指示を一文一動作で伝える。人 また、指示した手順を掲示しておく。物 ☆グループ学習で取り組むことによりどの子どもにも友達とかかわり合って表現する機会を持てるようにさせる。人 ☆「真剣な聴き方のスキル」で聴き合い、お互いが認め合える雰囲気の中で話し合えることにつなげさせる。人 ☆「グループで話し合うときのスキル」を使い、司会者の進行で一人一人が話せる場面を設ける。人 ☆「温かい言葉がけのスキル」を使って、お互いの考え方のよさを伝え合い、計算や考え方の誤りにはアドバイスをする。人	・自分の考えとの相違点や考え方のよさに着目して話が聴けるように伝える。 ・各自がワークシートに書いた考え方を伝えさせる。また、計算もした児童は、全員で解き方を確かめさせる。 ・自分が思いつかなかった方法は朱書きをして、考えを共有する。 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 図形を縦に切って考える方法もあるんだね。切って考える方法が二つあると分かって勉強になったよ。 </div>  「温かい言葉がけスキル」相手への言葉＋自分の気持ち
4. 発表する。<一斉> ・3つの求め方について発表する。	5分	☆グループ代表の説明では、立体模型を使うことにより、一つの立方体になる過程がどの児童にも理解できるようにする。物	・児童の発表説明を補足しながら3つの求め方を確認させる。
5. 本時を振り返る。 <個別→ペア→一斉> ・学習カードに、振り返りの記録をし、友達と伝え合う。 ・本時学習のまとめをする。	5分	☆ペアで振り返らせることにより、どの児童にも本時の学習について表現する機会を設け、学べた実感が持たせられるようにする。人 ☆多様な体積の求め方を工夫したことや自分の考えを相手に伝えられていた様子を肯定的で具体的な言葉で評価する。人	・学習カードに記入することにより、本時の学習で分かったことや気付いたことが自分の言葉でまとめられるようにさせる。

評価

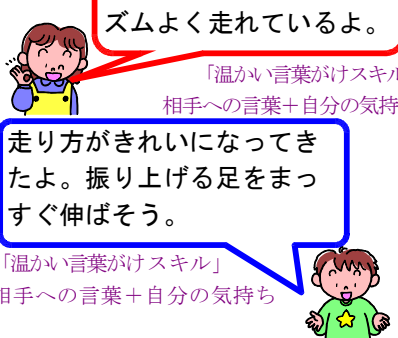
- ・学習活動 2 と 3 の場面「複合図形の体積をを分けたり引いたりなど、直方体や立方体にして求めている。」
 (数学的な考え方) (ワークシート・発言)

6 学年 体育科学習指導案（略案）

単元名 「ハードル走」2/5

ねらい 友達のアドバイスを生かして練習に取り組み、自己の記録を伸ばせる。

準備 教師・・・ストップウォッチ 児童・・・学習カード

学習活動 <学習形態>	単	☆ユニバーサルデザインの手立て 人・・・人的環境 物・・・物理的環境	・支援及び留意点
1. 準備運動をする。<一斉>	3分		・健康状態を観察する ・体の各部を十分に動かせるように助言する。
2. 個人でハードル走の練習をする。 <個別> ・練習のめあてを確かめる。 ・練習をしながら自分に合ったインターバルのコースを選ぶ。	5分	☆学習カードを参考にし、各自の課題を明確にさせる。 物 ☆ハードル間を4歩のリズムで走ることをめやすとして自分に合ったコースを選ばせる。(インターバル4m・5m・6m) 物	・練習の場は、途中でかえでもよいことを伝える。
<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> お互いにアドバイスをし、グループのみんなで記録を伸ばそう </div> 3. グループごとにハードル走の練習をする。<グループ> ・学級を4人グループに分ける。 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ハードルの間を4歩で走れるようになったね。リズムよく走れているよ。 </div> <div style="text-align: center; font-size: small; color: purple;"> 「温かい言葉がけスキル」 相手への言葉+自分の気持ち </div> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 走り方がきれいになってきたよ。振り上げる足をまっすぐ伸ばそう。 </div> <div style="text-align: center; font-size: small; color: purple;"> 「温かい言葉がけスキル」 相手への言葉+自分の気持ち </div> 	17分	☆練習のやり方を一文一動作で伝える。人 また、学習カードでも確かめられるようにさせる。物 ☆一人一人が跳んだ後にアドバイスをする時間を設け、「 真剣な聴き方のスキル 」で聴き合わせる。人 ☆「 温かい言葉がけのスキル 」を使い、できていることと直すことのどちらについても肯定的な言葉でアドバイスできるようにさせる。人	・以下の点などを意識させながら練習させる。 a 遠くから踏み切る b 振り上げ足（まっすぐに伸ばし足の裏が正面から見て縦にはっきり見えるようにする） c 抜き足（足の裏が横になるようする） d ハードル間を同じ歩数でリズムよく走る ・走るときのポイントを互いに確か合ってアドバイスをさせる。
4. 記録を測定する。<一斉>	15分		・記録をはかり、練習の成果を具体的に数字で確かめさせる。
5. 本時の学習を振り返り、次時のめあてを持つ。<個別→ペア→一斉> ○「 真剣な話の聴き方 」 ・学習カードに感想を書く。 ・2人組で感想を話し合う。 ・学級全体で感想を発表し合う。	5分	☆「 真剣な聴き方のスキル 」で聴き合い、本時の学習で分かったことや感じたことを認め合えることにつなげる。人 ☆学習に進んで取り組んでいた様子を肯定的で具体的な言葉で評価する。人	・体調の優れない児童がいなかどうか確認する。
6. 整理運動をする。			

評価

・学習活動3の場面「自分の力に合っためあてを持ち、アドバイスをし合いながら進んで練習に取り組んでいる。」

（関心・意欲・態度）（児童の観察・学習カード）